

京機会ニュース

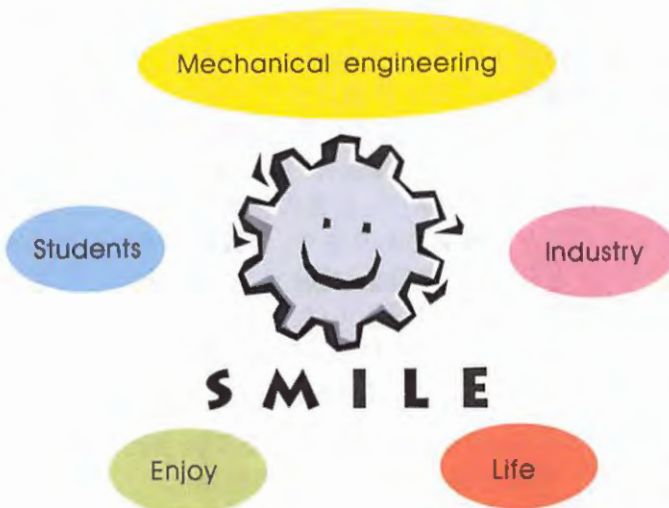
No. 13 平成15年(2003年) 9月19日

京都大学機械系工学会

事務局：〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院工学研究科機械系工学専攻

TEL&FAX: 075-753-5183、E-mail: keikikai@mech.kyoto-u.ac.jp

<http://www.hi-ho.ne.jp/dai2seiki/>



Students : 学生が中心である
Mechanical engineering : 機械工学という分野を通じて…
Industry : 産学交流を通じて何かを学びたい
Life : 一生関わる組織
Enjoy : 楽しもう!



京機学生会「SMILE」が誕生しました!

目次

会長就任挨拶	2頁	中国・四国支部からのお知らせ	11頁
平成15年度京機会秋季大会・総会開催のご案内	3	九州の会からのご報告	11
京機学生会からのお知らせ	3	文部科学省21世紀COEプログラムについて	12
平成15年度京機会評議員会・春季大会・総会のご報告	4	会員のページ	12
会計関連のお願い	5	各支部総会・新年会開催のご案内	14
平成15年発行名簿について	5	教官の異動	14
平成15年度京機会役員	5	京機学生会「SMILE」主催	15
平成15年度京機会評議員	6	学生と先輩の交流会のお知らせ	
平成14年度京機会決算報告	7	京都大学機械系工学教室第二世紀記念事業会	15
関西支部からのご報告とお知らせ	8	からのお知らせ	
関東支部からのご報告とお知らせ	10	キャンパスだより	15
中部支部からのお知らせ	10	写真のページ	16

平成15年度会費(年会費3,000円)の納入をお願いします!

過年度会費の納入をお忘れの方もこの機会に納入いただきますように!

**平成13~15年度分会費を完納されますと、平成12年度以前の会費納入状況にかかわらず
本年11月発行予定の会員名簿も無料でお送りします。**

平成13年度以降の納入状況は同封の個人データ(会費欄)に記載しております。

本年4月の総会において、永井前会長の後を受け、京都大学機械系工学会(京機学会)の会長を仰せつかりました。

100年を越す伝統ある京機学会が第二世紀を迎えて時代の要請に応えるべく新体制に組織を変革して、5年が経過しました。過去5年にわたり歴代の会長、役員の皆様のご尽力により、各種活動の基盤となる本部、全国4支部体制が整備されました。一方運営過程において生じた各種課題に対しても役員各位の衆知を集めて改善策が策定、実施された結果、大きな成果を得ることが出来ました。

一方過去5年を振り返ったとき、京機学会が会員諸兄、特に若い会員の十分なご理解を得られているとはいえない面があり、本年度はこの点の改善に注力したいと考えております。京機学会員を構成する技術者、研究者は当然として、管理者、経営者においてはより幅広い識見と、社会の変化に対応し、さらには予知する能力が必要とされます。これらの能力は在学中の教育や卒業後の文献、実験研究によって得られるのではなく継続的な自己啓発によらざるを得ません。母校の先生方や、同窓の先輩、同輩、後輩との様々な交流が自己啓発の有力な助けになることを確信しております。

新体制発足後、これらの観点から本部の春季総会、秋季大会(見学会付き)に加えて各支部で異業種交流会、リカレント教育、産学懇話会などが開催されております。これらの活動には大学の先生の献身的なご協力と各支部役員の大変なご尽力のもと、参加者から大変な好評を頂いております。特に関西支部は大学所在地であるために先生方のご協力を得やすいこともあり、支部行事にとどめるのは惜しい大きな企画が実施されています。このような状況から昨年来、E-mailにより全国の会員諸兄の参加を呼びかけていますので、是非皆様の一層のご出席を期待しております。なお、本部、各支部の行事予定は京機学会のホームページで最新情報をご覧頂けるようになっております。

本年度は特に若手会員諸兄の啓発、活性化の一助になればとの趣旨から各支部に「若手会員活性化基金」

をお渡ししています。この基金の趣旨に則り業務多忙で足が遠のきがちな若手会員の京機学会への参加が増えることを期待しています。また1学年120人を越す機械系工学科学生に対して、卒業後若いときから自己研鑽の場として京機学会活動に参加して貰いやすくするべく、「京機学生会」を組織したいと考えています。京機学会からの一部財政援助によりながら、学生の自主運営により学生間の交流、企業へのアプローチなどの活動を計画しています。

会員数約6,000人に及ぶ京機学会を活性化することは会員相互の連携が不可欠であります。現在、卒年単位の地区評議員、代表評議員をキーマンとしてお願いしていますので、同窓会開催などを通じてネットワーク構築すると共に評議員会などを通じて京機学会運営に対しご提案とご協力を是非お願いしたいと思っております。また京機学会は会員個人の自己研鑽の場であるのは間違いありませんが、会員の相当数が企業に所属していることも事実であります。会員数の多い企業のキーマンとして、評議員をお願いしている方々にも是非積極的なご参画をお願いいたします。

本年度運営方針としては上記趣旨に基づいて下記の5点を掲げて鋭意努力をしたいと考えております。

1. 全国4支部の活動に対する支援強化
情報交換、支部間交流の活発化
2. 若手会員活性化の具体策の立案と推進
若手会員の意識調査、魅力付け策の検討と試行
3. 会費納入率向上策の立案と実施
目標納入率50%(3年以内)
4. 機械系教室第二世紀事業との関連、整理、明文化
5. 事務局業務の合理化と支部支援業務の整備

繰り返しになりますが、会員各位の研鑽の場と、人的ネットワークとしての京機学会の発展に、会員の皆様の一層のご協力をお願いいたします。



平成15年度春季大会・総会の風景

平成15年度京機会秋季大会・総会開催のご案内

本大会を下記により開催致しますので、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

日時：平成15年11月14日(金) 13:30～

会場：(株)神戸製鋼所 神戸製鉄所 総合事務所

(当日連絡先：業務部 稲岡 Tel 078-882-8030)

阪神電車 新在家駅 南へ徒歩7分

新幹線新神戸駅からタクシーで20分

JR六甲道(快速停車駅)から南へ徒歩15分、タクシーで5分

行事：

◎秋季大会・総会(13:30～17:30)

開会挨拶 13:30～13:50

総会 13:50～14:05

特別講演 14:05～14:45

「分散電源と燃料電池：エネルギーフローネサンスへの道」

芝浦工業大学教授 京都大学名誉教授

鈴木健二郎氏(S37)

技術講演 14:50～15:40

「新鋼神戸発電所の建設」(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所設備部部长 川崎博也氏(S53)

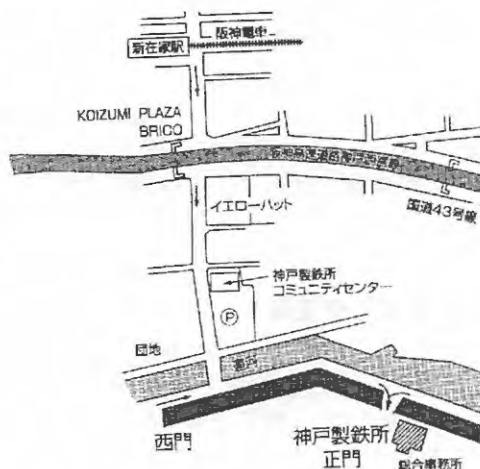
見学会 15:50～17:30 新鋼神戸発電所、神戸製鉄所 第7線材圧延工場

◎懇親会：(18:00～19:30) 会費：7,000円(当日 会場でお支払い下さい)

○ご回答は、10月24日(金)までに、同封のはがきでお寄せ下さい。

京機会HP(<http://www.hi-ho.ne.jp/dai2seiki/>)からも、受付できます。

但し、二重受付登録防止の為、出欠回答は、「はがき」か「HP受付」のどちらか一方でお願いします。



京機学生会からのお知らせ

京機学生会設立にあたっての挨拶

京機学生会会長 吉富 聡(M1)

京機会会員の皆様、はじめまして。この度、京機会の学生会を設立することになり、その会長を務めさせていただくことになりました。この京機会は、世界に誇れる京都大学の機械系のOB会として、他の大学には類をみない、非常に基盤のしっかりした縦のつながりの強い組織であると聞いております。しかしながら、京都大学機械系の現役の学生は、京機会の一員であるという恵まれた環境にいながら、そのアドバンテージをみすみす見逃してしまっているのが現状です。そこで、この度京機会の学生の部を設立し、学生が主体となって運営していくことで、学生の京機会への参加をより一層促し、学生と実社会のOBの皆様とのつながりを強固なものへと変えていけるようにしたいと考えました。また、それと同時に、京機会そのものにも、学生の視点からの新しい風を吹き込んでいけたらと思っております。誕生したばかりの組織で右も左もわかりませんが、精進してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

発足に至った経緯とその目的について

広報担当 朝倉涼次(M1)

皆様もご存知の通り、大学周辺の環境は現在大きく変化しているところです。独立行政法人化という法制面においての変化だけではなく、産学連携研究、大学発ベンチャーといった大学社会間の交流という面にお

いても大きく変化しつつあります。また私達学生としても、社会人となった先輩方と交流する機会を自分たちで作りたい、と思うところがありました。このような産学間の交流の活発化と学生達の熱意を受けて、京機会学生会は発足するに至りました。京機学生会が目的とするところは主に次の二つとなります。

1. 社会と接する機会を積極的に作り出す。
(OB交流会、工場見学、講演会等)
2. 京機会活動を学生にまで広げることにより京機会の一員であるという自覚を促す。それにより京機会のより一層の発展を目指し京都大学学内における知名度の増加を図る。

学生側からできる限りのことを企画し実行していきたいと考えています。けれども、主に前者の目的に関しては先輩方のご協力がぜひとも必要となっておりますので、忙しい毎日をお過ごしであるとは思いますが、お力添えをお願いしたいと思っております。

発足して間もなく、また未熟な学生による団体であるために至らない点も数多く出てくると思ひます。ご指導もしくは叱咤激励のほどよろしくお願ひします。京機学生会として最初の活動として11月15日に京都大学において企業説明会を行います(太田幸秀リーダー(M1))。学生会の今後を占う意味でも重要な企画になりますので是非共ご協力とご指導を宜しくお願ひします。

平成15年度京機会評議員会・春季大会・総会のご報告

1. 評議員会

平成15年4月19日(土)、総会に先立って、新旧合同の評議員会が40名の出席で開催された。総会議案の審議として、昨年度の活動報告、支部の活動報告、会計報告等がなされ、了承された。また、京機会活動の活発化と会費徴収率の向上について意見が出された。京機会名簿の発行と個人情報非公開希望の取り扱いの難しさ、大学組織の変化による機械系学科の分散等、京機会運営上、昔には考えられなかった問題の発生についても報告された。

2. 学生と先輩の交流会

本年も社会で活躍する機械系工学教室の先輩から在学生在がさまざまな情報を得る機会として標記の会を企画・開催した。昨年と同規模の合計61社(官公庁からの3組織を含む)から104名(24名の非会員を含む)に及ぶ卒業生に来ていただき、在生も2回生から修士の学生まで約280名が参加した。就職活動日程の関係で昨年に比べ学生の出足がいまひとつの感が残ったが、一方で企業サイドからはこの種のイベントの開催意義を大変深く認識していただいている。来年度以降、開催時期も含め、学生・企業相互のより実質的な交流の場とするべく検討を続けていきたい。

3. 講演会

(1) 「“国際融合”の現状といくつかの矛盾」

井手亜里氏(S52)

過去50年間、日本の大学は多くの成果と多くの優秀な人材を世に送り出した。それらの人材は日本を世界の最先進国の一つに導いたにもかかわらず、今、なぜ変革にさらされているのか?外から見れば、日本の大学は「国際」的ではなく、社会貢献度が小さいとも言われている。また社会では、経済不況の中で人々が厳しい競争にさらされているにもかかわらず、大学には「競争原理」がないのが現状である。

饒舌者は米国の大学の(大学発企業化)成功例を見せながら、また多くの失敗を隠しながら、変革を訴えているが、理論的な根拠がなく、このレベルの議論は面白くない。演者は、日本の歴史発展に寄与したような「一般民衆の発想から学ぶ」という点に興味をもち、日本の教育史上きわめて面白いケースである「懷徳堂」を例に挙げ、その特徴(町民の力で、また極めて創造的なやり方で「独法的?な塾」を設立したこと)について解説した。

偶然かもしれないが、本講演の時期は平成15年4月、国際融合どころか分裂の時期であった。米国のイラクへの武力介入とそれに反対するヨーロッパ、また力のある大国による、弱小国の自国政策への「融合」。色々理屈をつけて戦争を正当化しようとする考えと違ってそれに反対することを訴える必要のある時期でもあった。

(2) 「外資系会社公募社長の企業変革体験談」

石坂 章氏(S41)

外資系メカニカルシール製造販売会社の公募社長として企業変革に取り組んだ8年間の体験、すなわち、社長になる前のその会社の取扱品の市場から見た将

来性、その会社の技術の認識と事業を前に進めるための基本的考えを包括的に検討することの重要性、社長になってからのそれを前に進めるための難しさとその克服、が語られた。これら体験から、事業が栄えるのはダーウインの言う種の繁栄と同じく、優秀なものが残る栄えるのではなく、環境に適合してゆけるものが残る栄えるのだという認識が示された。

4. 総会

講演会に引き続き、同会場で平成15年度京機会総会が開催された。永井会長(S31)の挨拶に続いて、下記の件が報告、承認された。なお、総会参加者は176名であった。

- (i)平成14年度活動報告
- (ii)平成14年度会計報告
平成14年度収支決算書はP.7に掲載。
- (iii)支部報告
各支部活動の詳細はP.8~P.11に掲載。
- (iv)第二世紀記念事業
牧野新実行委員長(S47)から、リカレント教育等の第二世紀記念事業について報告された。
- (v)役員改選

平成15年度の役員として、

【会長】	坂戸瑞根	(S32)
【副会長】	関西支部	野田忠吉 (S33)
	関東支部	二宮 敏 (S33)
	中部支部	松本和男 (S41)
	中国・四国支部	川口東白 (S34)
	大学	垣野義昭 (S39)

を選出した。

また、新たに顧問を置くことが諮られ、永井 将前会長(S31)が選出された。尚、監事・常任幹事・大学側幹事・評議員はP.5~P.6に掲載。

(vi)新年度運営方針の件

坂戸新会長(S32)より平成15年度の運営方針として

1. 全国4支部の活動に対する支援強化、情報交換、支部間交流の活発化、
2. 若手会員活性化の具体策の立案と推進、若手会員の意識調査、魅力付け策の検討と試行
3. 会費納入率向上策の立案と実施
4. 機械工学教室第二世紀事業との関連性の整理と明文化
5. 事務局業務の合理化と支部支援業務の整理

が説明され、また、予算案が説明され承認された。

5. 懇親会

総会終了後、懇親会が吉田食堂において催された。参加者は総計203名で、そのうち現役の学生は37名と昨年同様に盛会であった。会場のあちこちで人の輪ができ、OB同士、あるいは、現役学生と先輩との間で歓談が行われている様子から、京機会の意義がもっとも自然な形で感じられる。お開きの時間が過ぎても、なお多くの方々が残られ、後片付けの邪魔になっていたのも、この会の成功を物語っているのだろう。

会計関連のお願い

会計状況について

平成14年度は、平成14年4月から平成15年2月末までの変則的な会計期間となりましたが、単年度収支としては支出が収入を約110万円上回る結果となりました。当面は、繰越金を減らすことによって収支を保てますが活発な活動の故とはいえ、楽観できない状況といえます。本年度予算については、総会でご承認いただきましたように、学生を含む若手会員の本会活動への参加促進を目的とした交流基金を予算化するなど、会の活性化への新しい試みも行っております。

会費納入のお願い

平成15年度の会費3,000円の納入をお願いいたします。同窓会を維持し、また京大の機械系教室の現役・OBが一体となって、日本を支えている製造業を推し進めてゆく活動は、会員の皆様から納入される会費を基盤にしております。決算報告を見て頂いて分かりますように、京機会の運営は経済的に大変厳しい状況にある上、本年度分の会費納入率は約37%と大変低い水準です。製造業・機械産業が日本を支え、その中心が京都大学機械系であるための努力を継続してゆくため、是非、会費納入にご協力ください。

寄付のお願い

アメリカに対し日本が遅れを取っている大きな原因に、大学の同窓会活動に対する一般の理解の差がありそれは寄付に表れています。アメリカに倣うことが必ずしも良いとは言いませんが、京機会で篤志家の寄付を随時受け付けることに致し、上述の活動のより活発化を図ります。何卒、大局、ご理解賜りご協力の程宜しくお願い申し上げます。

◎会費ならびに寄付とも添付の振込用紙をご利用下さい。

平成15年発行名簿について

前回のニュースレターでは、名簿を7月に発行する予定とお知らせしておりましたが、会員の皆様の各種個人情報につきまして、最新のものへ更新していただくとともに、各種項目に関しまして、掲載の諾否をいただく為、11月中の発行へと延期いたしました。なお、名簿の名称は「京機会名簿」とすることになりました。

このニュースレターとともに秋季大会の返信用葉書が同封されており、その中に個人情報が入字されておりますので最新のものへの更新をお願いします。また、不掲載希望の項目がございましたら、通信欄にて別途にご指示下さい。**10月14日(火)迄(必着)**に届きました分につきましては、名簿に反映させていただきます。

個人情報の保護は大切な問題ですが、必要情報が掲載されませんと、名簿の存在意義もなくなってしまいます。この点についてのご理解をお願いする次第です。

平成15年度京機会役員(敬称略)

【会長】

坂戸瑞根

(S32、コベルコ冷熱システム(株)常務取締役)

【副会長】

関西支部 野田忠吉(S33、住友精密工業(株)社友)

関東支部 二宮 敏

(S33、バブコック日立(株)代表取締役社長)

中部支部 松本和男(S41、(株)デンソー 専務取締役)

中国・四国支部

川口東白(S34、宇部興産(株)顧問)

大学 垣野義昭(S39、精密工学教授)

【監事】

駒井謙二郎(S38、京都大学名誉教授、福井高専校長)

森川龍一(S25、森川テクノ・マネジ 代表)

植木 努(H元、コーワ総合会計事務所 代表)

【代表幹事】

久保愛三(S41、精密工学教授)

【常任幹事】

会長指名幹事 熊澤正博(S43、(株)日立製作所)

【常任幹事】

支部代表幹事

関西：上原一浩(S53、(株)神戸製鋼所)

関東：志摩寿一郎(S44、日産自動車(株))

中部：伊勢清貴(S53、トヨタ自動車(株))

中国・四国：田端茂夫(S55、(株)マツダ)

大学側幹事

関西支部担当：牧野俊郎(S47、機械物理工学教授)

関東支部担当：吉村允孝(S43、精密工学教授)

中部支部担当：松久 寛(S45、精密工学教授)

中国・四国支部担当：島 進(S40、機械工学教授)

名簿担当：熊本博光

(S44、情報学研究科システム科学工学教授)

広報：ニュース担当：木村健二

(S51、機械物理工学教授)

広報：HP担当：西脇真二(S61、精密工学助教授)

会計担当：石山拓二

(S53、エネルギー科学研究科エネルギー変換科学教授)

【顧問】

永井 将(S31、TFテクノフュージョン研究所 代表)

平成15年度京機会評議員(敬称略)

(新) : H15 年度新任評議員

H15. 8 現在

卒年	卒業年度代表 評議員 [() 以外は関西]	地区評議員			
		関西	関東	中部	中国・四国(その他)
S 2 0	谷口 浩				
S 2 1	大矢根守哉	鬼頭 勇			坪井 正
S 2 2	岸本 雅夫	岸本 雅夫(兼)			
S 2 3	岐美 格	尾谷 博敏	京谷 好泰		
S 2 4	(調整中)				
S 2 5	森川 龍一	森川 龍一(兼)	真部 広隆		渡辺 忠淳
S 2 6	吉川 和彌	岡田 守夫	加藤 孝之		
S 2 7	鈴木 正直	山本 巖	小林富美彌	濱島 辰雄	
S 28 旧	乾 宰人	乾 宰人(兼)	高橋 尚郎		寺谷 忠郎
S 2 8	西田 弘	宇多小路豊	西岡 良三		松田 安正
S 2 9	久光 脩文	久光 脩文(兼)	木村 雄宗		
S 3 0	桂田 四郎(新)	荒木 克治(新)	漆原 正義(新)	大友 満	撰 親
S 3 1	橋本 昌	東 良学	戸田 凱夫	山本 新市	和中 宏樹
S 3 2	坂戸 瑞根	井上 睦夫	木村 達也	赤松 利章	
S 3 3	野田 忠吉	中村 達(新)	梅本 毅	池村 澄男	藤田 宏
S 3 4	柴田 俊忍(新)	木谷 彰宏(新)	三浦登志男	大鹿 澄男	川口 東白
S 3 5	松木 健次	矢部 寛	太田 脩二	初井 英夫	大熊 隆吉(九州)
S 3 6	四方 光夫	四方 光夫(兼)	宮下 直也、山本 明	井上 恵太	佐藤 義政
S 3 7	伊藤 俊太郎	吉岡 肇、	小野 孝之、浅田 昭	毛戸 節男、大岩 忠明	上出 拓郎
S 3 8	中川 哲(中部)	大西 邦彦(新)	善本 毅	野呂 周平	高橋 正
S 3 9	垣野 義昭	澤田 邦昭、岸田 尚	村田 哲也(新)		藤田 茂文
S 4 0	島 進	濱野 清士	柳井 誠、北川 正樹	荒川 義光	鷺尾 誠一
S 4 1	久保 愛三	古池 治孝	豊田 洋民、中垣 邦弘	松本 和男	石原 信勝
S 4 2	藤川 卓爾(九州)	堀家 弘	平尾 隆、有光 秀雄	加藤 由人、伊藤 和彦	下津 正輝
S 4 3	小島 達雄(中国)	山中 猛、林 完爾、 平田 誠計、大西 良弘	熊澤 正博、芳村 泰嗣	瀧本 正民、中西 清(新)	宇野 義幸、江藤 孝治
S 4 4	並木 宏徳	神田 剛	二井内親兵衛	野口 満之	石川 丕行
S 4 5	田保 栄三	各務 嘉郎	坂口 喜好	田附 尚	薦田 哲男
S 4 6	三津田恒夫	三津田恒夫(新)(兼)	松宮 徹	鈴木 昌彦	山本 博孝
S 4 7	秋山 雅義	成瀬 忠史	小澤 豊、広瀬 勇次	太田 誠一	新川登茂宣
S 4 8	佐々木美樹(関東)	成宮 明、安盛 善	増本 雄治	野口 好一	吉里 勉
S 4 9	閑納 真一(関東)	日下部博昭、市場良行、柏木健男	吉田 史郎		山崎 雅之
S 5 0	山西健一郎	盛林 茂夫、石川 聡	長田 守弘	下村 豊	溝淵 俊寛
S 5 1	杉江 俊治	深野 明	岩波 正、小松 富夫	棚橋 晴彦	中筋 和行(九州)
S 5 2	中井 善一	尾上 正剛、小島 敏良	藤山 一成	佐々木一衛	生田 耕治
S 5 3	石山 拓二	北川 聡一、竹ノ内壮太郎	川口 靖夫	木村 忠司	小田 祐司(九州)
S 5 4	坂口 保彦	坂口 保彦(新)(兼)	尾崎 永一、大崎 安史	伴 鋼造	藤井 慎吾
S 5 5	小寺 秀俊	奥田 寛、姫田 篤	松浦 清、宮地 豊	敷田 卓祐	
S 5 6	樫木 哲夫	岡村 将光、谷垣 哲也	羽田 英夫、石山 和文	竹内 芳裕	
S 5 7	上井圭一郎	三宅 俊也			
S 5 8	永瀬 豊	池内清晃、西村高明、疋田 理		山下 和彦	林 知得
S 5 9	横小路泰義	長岡壯壽、浜本成久、有川泰史	田中 正樹	平 弘二	
S 6 0	新井 聡(関東)	洲崎 章弘、鈴木 洋	村上 弘記		
S 6 1	蓮尾 昌裕	栗村 隆之、二股 一郎	粉川 良平	大塚 康司	後藤 知伸
S 6 2	川上 浩司	篠原健治郎	小川兼一郎	小関 智史	田端 伸章
S 6 3	玉川 雅章	加賀 邦彦	枝村 学、久保木 孝	近藤 好正	村田 健史
H 1	石谷 善博(関東)	柴田 豊、望月 正人	鳴海 一雅、栗栖 正充		平田 直人
H 2	水山 元	畑 善裕、三輪 雅彦	内山 雅史		
H 3	若林 英信		高嶺 研一、能勢 幸嗣	佐藤 利勝	
H 4	岩前 敬	福谷 和久、西田 大		久保 崇	佐分利誠司(九州) 堀内 匡
H 5	岩井 裕	雪本 徹、廣門 泰樹			
H 6	田中 和人	安威 俊重		阿部健一郎	
H 7	小森 雅晴	梅野 宜崇、井尾 賢司	古賀 響	泉 祐志、佐々木伸也	大西 徹史
H 8	泉井 一浩	塩瀬 隆之、平澤 拓	笹田 義幸		
H 9	佐野 智一	平山 朋子	杉原 了一		
H 1 0	鶴飼 宗紀	古株 慎一		山内 崇史	
H 1 1	佐藤 紘一				

事務局といたしましては、上記評議員を中心に全会員のご協力をいただきながら各卒業年度同窓会との連携を密にしていきたいと考えております。

平成14年度京機会決算報告 (自 H14. 4. 1 至 H15. 2. 28)

I. 一般会計の部

1. 前期繰越金

摘要	金額	内訳	
		明細	金額
H14年度会費前受金	1,456,000	みずほ銀普通預金	500,057
H15年度以降会費前受金	682,000	現金	6,045
繰上納入会費・名簿代前受金	1,036,000	郵便振替	988,124
前期繰越金	7,250,526	郵便定期貯金	8,930,300
合計	10,424,526		10,424,526

2. 収入

摘要	金額	内訳	
		明細	金額
預金利息	56,910	定期預金利息(基本金分)	154
		郵便定期貯金利子	56,700
		みずほ銀普通預金利息	56
H14年度以前会費収入	4,797,000	(注)上記前期繰越金のH14年度会費前受金¥1,456,000との和 ¥6,253,000が今年度の会費収入(*)	
H15年度以降会費前受金	597,000	(注)上記前期繰越金のH15年度以降会費前受金¥682,000との和 ¥1,279,000が今年度の会費前受金(*)	
京機会名簿代	24,000	(注)H14年3月繰上納入名簿代前受金¥6,000を含む	
京機会ニュース広告代	30,000	(*)会費収入と会費前受金に上記前期繰越金の繰上納入会費前受金¥1,030,000を含む	
春季大会懇親会参加費	603,000		
合計	6,107,910		

3. 支出

摘要	金額	内訳	
		明細	金額
会員通信費	657,345	評議員宛文書発送費	1,120
		京機会ニュース11号(秋季大会案内・回答用紙等を含む)発送費	458,350
		春季・秋季大会返信はがき後納郵便料金	150,665
		名簿関係書類・名簿発送費	23,940
		その他通信用切手等代	23,270
印刷費	622,754	秋季大会回答・データ返信用紙等印刷費	124,004
		京機会ニュース11号印刷費	498,750
備品消耗品費	83,407	文具等消耗品購入費	8,878
		京機会旗等備品購入代	74,529
人件費	2,016,958	常勤事務員給与・保険代等	1,916,458
		臨時アルバイト代	100,500
旅費	365,080	幹事会役員旅費	143,000
		總會等出張旅費	217,080
		その他	5,000
会議費	146,041	幹事会経費	146,041
大会経費	544,383	總會懇親会経費	506,310
		總會関連経費	38,073
支部交付金	1,013,000	関西支部交付金	483,000
		関東支部交付金	360,000
		中部支部交付金	100,000
		中国四国支部交付金	70,000
支部事業費	5,500	「九州の会」案内代	5,500
雑費	364,914	郵便振替振込手数料	70,810
		銀行振込手数料	8,610
		銀行自動引落関係手数料	26,932
		データベース作成/改良費等	258,562
前年度既収入計上分	1,036,000		
名簿積立金	372,000		372,000
合計	7,227,382		

4. 次期繰越金 (H15. 2. 28現在)

摘要	金額	内訳
みずほ銀普通預金	320,668	(内訳)
現金	144,741	会費前受金 ¥1,279,000
郵便振替	857,645	【内H15年度会費前受: (¥1,000,000)】
郵便定期貯金	7,982,000	H15年度繰越金 ¥8,026,054
合計	9,305,054	¥9,305,054

5. 名簿積立金

摘要	金額
現金	359,270
郵便振替	278,730
合計	638,000

6. 基本金

摘要	金額
みずほ銀定期預金	206,535
みずほ銀定期預金 (朝永、岡本、金子、菊川、西原、長尾、植本各基金を含む)	176,995
合計	383,530

II. 特別会計の部

1. 資産財産目録 (H15. 2. 28現在)

資産種別	金額	資産種別	金額
みずほ銀定期(005)	1,000,000	みずほ銀定期(011)	2,000,000
みずほ銀定期(006)	1,800,000	みずほ銀定期(012)	2,000,000
みずほ銀定期(008)	1,000,000	2年国債(野村証券)	7,200,000
みずほ銀定期(009)	1,000,000	みずほ銀普通預金	1,656,316
みずほ銀定期(010)	1,000,000		
合計		18,656,316	

2. 収支明細

摘要	収入	支出
定期貯金利子	3,322	
利付国債配当金	5,764	
普通預金利息	135	
合計	9,221	0

H13度決算より
¥9,221 増

注記：後納郵便振替金として¥217,000が拠出されています。

上記監査内容に相違ありません。

監事 駒井謙治郎、森川 龍一、植木 努

関西支部からのご報告とお知らせ

平成15年度上期活動報告(前号での報告以降分)

■産学懇話会の開催

会場：京都大学工学研究科物理系校舎

第13回：4月5日(土) (参加者数59名+学生多数)

「太陽光発電システムの動向」

松木健次氏 (S35)

「CFRPの構造材料への応用と

メゾ構造制御による高性能化」

京都大学 北條正樹氏 (S54)



第14回：7月26日(土) (参加者数70名+学生多数)

「情報化社会における視覚障害者向けシステムの開発」

(株)アスク 朝尾伴啓氏 (S50)

「医療・バイオ分野研究における『安心』の構造」

京都大学 富田直秀氏 (S54)

「大学の機械系学科に望むもの」

コンポン研究所 井上恵太氏 (S36)

■異業種交流会の開催

第13回：2月20日(木) 於住友電気工業(株)

伊丹製作所 (参加者数29名)

講演：「超高压焼結工具の開発と応用事例」

佐橋稔之氏 (S59)

「GaN化合物半導体ウェハの開発」

井上哲也氏 (S58)

「コンタクトプローブの開発」

丸山哲二氏 (S57)

見学：ダイヤ製品工場(超高压焼結体材料)半導体工場

懇親会

第14回：6月27日(金) 於サンレー冷熱(株) (参加者数36名)

講演：

「サンレー冷熱の事業展開について」 河本恭爾氏 (S32)

「バーナ燃焼技術について」 水野裕之氏

「環境装置関連技術について」 川瀬良昭氏

見学：工場

懇親会



第15回：8月29日(金) 於川崎重工業(株)

(参加者数48名)

講演：「カワサキL20Aガスタービン・エンジンの開発」

寺内晃司氏 (H6)

「川崎重工の流体関連技術とその適用例」

阪井直人氏 (H6)

「パワーウエイト・レシオ 1.0への道のり」

大野貴洋氏 (H8)

見学：明石工場 ガスタービン発電プラント

オートバイ組立工場

懇親会

■サロン・ド・エクセレンス京機(関西) MOT研究会

京機会関西支部では、幅広い見識を持って、国内外に影響力を行使しうる次世代人材の発掘と育成を図ることを趣旨に会員が気楽に楽しみながら情報交換や人脉形成をはかる場をつくりました。(詳細はP.9参照)

■京機九日会

S32年卒が幹事を担当して次の通り開催されました。

4月9日(水) (参加者14名)

「最近の中国情勢」

井上睦夫氏 (S32)

6月9日(月) (参加者15名)

「設計リーダー、マネージャーのあり方」

坂戸瑞根氏 (S32)

8月9日(土) (参加者12名)

「海外トレッキング(山旅)の話」 青野敏幸氏 (S32)

10月は恒例によりシャブシャブによる懇親会を開きますので、9月にあらためて開催案内と出欠お伺いを致します。

開催場所：大阪中央電気倶楽部 (TEL：06-6346-5740)

大阪市北区堂島浜2丁目1-25

開催日時：10月9日(木) 11：00～14：00

講演：「粉体技術の世界」 小浜弘幸氏 (S32)

平成15年度下期活動案内

今後の行事開催予定は次のとおり。

第16回関西支部異業種交流会のお知らせ

日時：平成15年10月31日(金) 14:00～19:00

会場：シャープ(株)天理総合開発センター

JR天理駅、近鉄天理駅からマイクロバスが配車されますのでご利用下さい。出発 13：15です。

定員に限りがありますのでお早目にお集まり下さい。一般バスは、天理駅前発13：20(3番55系統)にて、13：35分到着です。地図はHPに掲載しております。

スケジュール：13:30～ 受付

14:00～ 開会挨拶・天理事業所紹介

14:30～ 歴史・技術ホール見学

15:30～ 技術講演会

①電子写真プロセスにおける高解像度露光/現像
岩松 正氏 (S61)

②最近の光ディスク信号処理技術について
花野雅昭氏 (H4)

③携帯通信端末技術の動向と当社の取りくみ
山本裕彦氏 (S58)

④プラズマ成膜技術について 中濱康治氏 (H7)

17:45～懇親会(於 ゲストルーム、参加費3,000円)

第16回交流会の参加申込・お問合せは、
関西支部事務局長 上原一浩((株)神戸製鋼所)迄
ご連絡下さい。

関西支部総会・新年会のお知らせ

日 時：平成16年1月16日(金) 場 所：ホテルグランビア大阪

- ・総 会：17：30～（鶴寿の間）かくじゅ ・新年会：18：30～（名庭の間）
- ・幹事会社は副当番会社の住友金属工業(株)

関西支部会員には別途ご案内通知を発送します。また、詳細は後日、京機会HPにも掲載します。関西支部以外の方のご参加も歓迎します。支部会員以外で参加希望される方は京機会事務局迄ご連絡下さい。事務局より別途詳細をご案内させていただきます。

サロン・ド・エクセレンス京機 -MOT (マネジмент・オブ・テクノロジー) 研究会-

世界から評価される大きな成果が10年後か20年後に出たとしよう。そのルーツをたどると必ずや京機会の人材がキーマンとして厳然として存在している—その様な人材をきら星の如く輩出すべく、またその人材群を育む人材ネットワークを構築すべくサロン・ド・エクセレンス京機の活動がスタートした。

【講演会】18：15～19：15

主に技術以外の見識を高めるための講演。

第一回 4月18日(金)

日本アジア投資 常務取締役
佐々木美樹氏(S48)

「マネジメントバイアウト」
-事業のリストラクチャリング-



第二回 5月16日(金)

監査法人トーマツ 公認会計士
脇田一郎氏(S52)

「企業の社会的責任」
-儲けることこそ企業の責任-



第三回 6月20日(金)

京大国際融合センター 教授
井手亜里氏(S52)

「中近東の招かれざる客たち」



第四回 7月18日(金)

特許庁 審査長
扇谷高男氏

「グローバル化時代の
知的財産戦略」



【懇親会】19：15～21：15

世代、業種を超えた人脈作りが目的。

ガーデンシティクラブ大阪で食事、飲物付の懇親。会費は卒年グループ別の年齢傾斜会費。特に学生は半額で好評。



懇親会スナップ



サロンに集う皆さん

今後の予定

- 第五回 9月19日(金) (有)佐藤R&D 代表取締役 佐藤 国仁氏(S44) 「技術者の自立」
- 第六回 10月17日(金) 聖泉大学 方 蘇春氏(S61) 「私から見た日中文化の相違」
- 第七回は下記のような特別会合を企画しています。どなたでも参加頂けますので、是非お越しください。

産学懇話会、MOT研究会、共催 講演会

日 時：平成15年11月22日(土) 講演会 13：00～18：00 懇親会 18：15～19：30

場 所：京都大学工学研究科物理系校舎 懇親会会費：2,000円(学生1,000円)

- 内 容：
 - ・「フェアレディZ復活の軌跡」 日産自動車(株) 湯川伸次郎氏(S51)
 - ・「クラウンの車両企画と技術開発について」 トヨタ自動車(株) 伊勢清貴氏(S53)
 - ・「産と学、文と理をつなぐもの」 毎日新聞 元村有希子氏
 - ・「京都大学機械系の21世紀COEプログラムについて」 京都大学 土屋和雄教授

サロン・ド・エクセレンス京機：入会随時受付。連絡先：矢辺保行

委員長：並木宏徳(S44) 委員：松久寛(S45)、名和基之(S44)、矢辺保行(S57)、塩瀬隆之(H8)

関東支部からのご報告とお知らせ

第2回京機会関東支部異業種交流会実施報告

昨年からスタートした関東支部異業種交流会を今年5月30日に、富士写真フイルム(株)足柄工場にて行いました。当日は坂戸会長、二宮関東支部長を始め、43名の皆様にご参加をいただき盛況裏に進めることが出来ました。

先ず、工場説明と映画“Life on the earth”から始まり、今回のメインイベントである、世界に先駆けた「写ルンです」循環生産工場と、カラーネガ加工工場、環境施設である「錦鯉遊園」の見学をしました。その後、富士写真フイルム(株)小川潤氏(S47)による『環境を配慮した「写ルンです」の設計と循環生産システム』と題する講演を聴きました。見学中と講演のあとには、ご参加の皆さまの循環生産や、写真に関する具体的な質問が矢継ぎ早に引きも切らず、ご出席の皆様の関心が非常に高いことを実感しました。

このあと、二宮支部長のご挨拶を皮切りに懇親会を催しましたが、ここでも写真、デジタル化等の話題に花が咲きました。参加者同士の尽きな

い親睦のひとつを惜しみつつ、最後に坂戸会長の締めのお言葉をいただき、散会となりました。

関東支部の異業種交流会も軌道に乗り、来年は(株)東芝様のハイテク拠点にて開催の予定です。詳細は後日ご案内を差し上げますが、今回にも増して大勢の皆さまのご参加をお願い致します。

関東支部事務局次長 江上(S44)記

関東支部第4回総会・平成16年度新年会のご案内

関東支部第4回総会・平成16年度新年会を平成16年1月31日(土)に開催致します。今回の会場は、「虎ノ門パストラル」(地下鉄日比谷線神谷町駅下車徒歩2分)です。

詳細は決まり次第、後ほどご案内致しますが、例年のごとく、午後からのリカレント教育に引き続き総会、新年会を催す予定です。

今回は若手の方々にも興味を持って気楽に来ていただけるよう、服装をノータイにするなど考えております。皆様のご参加をお待ちしています。



中部支部からのお知らせ

中部支部技術交流会のお知らせ

11月5日(水)に新東工業(株)の川合悦蔵氏(S45)のお世話で下記の要領で中部支部技術交流会を実施いたします。

場 所：新東工業(株)豊川製作所

ホームページ：www.sinto.co.jp

日 時：11月5日(水) 13:00～19:00

概 要：産業機械、設備に関する技術的課題を中心に研究会的志向で開催

・技術研究会

①最近のショットピーニング技術

②ASR溶融リサイクル技術

③最近の鋳造設備技術

・工場見学

・懇親会

◎電車でお越しの方は、JR豊橋駅12:30に集合下さい。マイクロバスにて、新東工業(株)へご案内いたします。

◎車でお越しの方は直接現地集合とします。

参加ご希望の方は、

中部支部事務局 トヨタ自動車(株) 大森

まで、交通手段も明記の上、連絡ください。

締め切りは10月17日(金)。

参加者多数の場合は先着順とさせていただきます。

皆様のご参加をお待ちしています。

支部総会

中部支部総会は来年3月を予定しています。

支部総会のご案内は、別途、支部会員宛にお送りします。詳細は、後日HPでもご案内します。

中部支部以外の方のご参加も歓迎します。支部会員以外で参加希望される方は京機会事務局迄ご連絡下さい。事務局より別途詳細をご案内させていただきます。

中部支部事務局長：トヨタ自動車(株) 伊勢清貴

中国・四国支部からのお知らせ

中国・四国支部では、2003年度の行事開催予定を、下記の通り予定しています。

1) 若手・ミドル会員と先輩会員との交流会(広島地区)

開催予定：平成15年10月頃

昨今の変化の激しい経済環境や技術革新の波の中で、企業で働く従業員に必要な人材要件も、変革発想力・戦略思考・危機管理能力などといった従来とは異なる特性を求められる時代となっています。

これまでにそれらの能力を活かしながら企業の幹部として事業や組織の運営にあたってこられた先輩会員の方々とディスカッション(意見交換)や質疑応答を通して、若手・ミドル会員の抱える課題について、解決へのヒント示唆や人脈紹介の形で支援する機会を設けるものです。

具体的には、10人程度で1つのテーブルを囲み、共通のテーマを取り上げて、気楽に本音で語り合う場を想定しています。

近在会員の方の積極的な御参加をお願い致します。また、取り上げてほしいテーマがありましたら、ぜひ事務局へ御一報下さい。

2) 役員連絡会

開催予定：平成15年11月末～12月初旬

下記予定の支部総会・交流会の開催方針の検討とこれに向けての準備の進め方について、支部役員の間での調整連絡会を行ないます。

総会・交流会が、前回同様に多数の出席者を迎え、有意義で豊富な情報の提供がなされ、活発な人材交流の場として盛会に開催できますよう、周到に準備を進めて参りたいと考えておりますので、役員各位におかれましては積極的な御出席をお願い申し上げます。

3) 支部総会

次年度総会は平成16年2月初旬、三菱重工業(株)広島製作所で開催予定です。

前回の年度総会では、併せて「デジタルエンジニアリング」をテーマとした異業種交流会を開催しましたが、今回も例えば「情報技術と機械技術の融合」などといった時代感覚にふさわしい、興味深いテーマを選定して、複数企業からの情報提供を企画したいと考えています。

また、かねてからの懸案である「若手会員の参加率向上」も引き続き重点課題として取組み、支部活動の活性化につなげていくことも目標に掲げます。

取り上げるべきテーマのアイデアがありましたら、事務局にご連絡下さい。また、総会開催に向けて、関係者各位の御協力と会員の皆様のご参加をお願い申し上げます。

九州の会からのご報告

去る平成15年5月17日、山陽新幹線小倉駅の真上にあるステーションホテル小倉内の「日本料理 祇園」において第1回京機会九州の会を開催いたしました。京機会会長の坂戸瑞根様、中国・四国支部長の川口東白様や井手先生にも遠路遙々お越しいたいただき、松久先生のご指導のもと盛会のうちに終えることができました。

昼下がりの宴ではありましたがほどよくアルコールが回った頃に、自己紹介、京機会活動に寄せる思い等を順に述べていただくことにしたところ、幹事である私の予想を遥かに上回る勢いでお話をされる方が多く、制限時間である2時間半に収めるのが精一杯でした。その後喫茶店に場所を移して全員でケーキセットをいただく等して、ご参加をいただいた方々には十分楽しんでいただけたのではないかと思います。

特に先輩諸氏のご自身の経験に鑑みて述べられる想いの中には、変革の時代に対峙する京機会メンバーへの貴重な指針が含まれていたように感じました。これまで関を作る習性があまり無かった京大OBではありますが、直面する問題が複雑化する中で自分の専門範囲の能力だけに頼るのではなく、異業種交流やリカレント教育を通じて形成する幅広い人的ネットワークの中に解決の糸口を見つけることは重要であるというお話には感じるところがありました。また京機会先輩諸氏の中には企業のマネジメント、すなわち経営者としてご活躍されてきた方々

もたくさんおられる訳ですから、技術的なテーマを追う交流だけでなく、経営者の視点から見た考え方に触れることができるような交流も大事というご意見にも触発されるところがありました。

会の終了後に松久先生ご一行は陸路大分県の壁湯温泉の方へ向かわれました。自然豊かな九州を十二分に堪能されようとする前向きな姿勢に感心させられてしまいましたが、「九州の会」のあり方のひとつとしても良いモデルになるのではないかと考えております。湯布院、黒川といった超人気リゾートを擁する九州において、癒し系温泉の地を開催場所にすることもひとつのアイディアと言えるかもしれません。私自身は是非ゴルフの会を開催したいと考えておりますので、これを読まれた九州在住の京機会の方で同じ考えをお持ちの方は是非中田までご連絡をいただきたく存じます。

九州の会 幹事 中田 昌宏(S58)



文部科学省21世紀COEプログラムについて

土屋和雄(工学研究科航空宇宙工学専攻教授)

世界的な研究教育拠点の形成を重点的に支援し、国際競争力のある世界最高水準の大学づくりを推進することを目的に、文部科学省により平成14年度から「21世紀COEプログラム」(平成15年度予算額約334億円)が実施されています。京都大学工学研究科(機械工学専攻、機械物理工学専攻、精密工学専攻、航空宇宙工学専攻)、情報学研究科(複雑系科学専攻)および国際融合創造センターは、このたび21世紀COEプログラムの機械工学分野における研究教育拠点に選ばれました。その概要はつぎの通りです。

プログラム名称

動的機能機械システムの数理モデルと設計論
(複雑系の科学による機械工学の新たな展開)

拠点リーダー

土屋和雄(工学研究科教授、航空宇宙工学専攻)

拠点形成計画の概要

本拠点では、複雑系の科学に基づいて、複雑な機械システムを対象とする機械工学の新たな展開を目指します。複雑系の科学は、複雑さの背後に普遍的な法則が存在すること、複雑な挙動の中から秩序ある構造

が自発的に形成されるとともにその秩序形成を通して高度な機能が実現されることを明らかにしました。本拠点では、複雑系の科学で開発された新しい解析手法と秩序形成及び機能創発に関する知見を基に、複雑な機械システムの現象解析とモデル化及び制御と機能設計論の構築を目標としています。

研究は、工学研究科機械系四専攻と複雑系の科学において高い研究実績を持つ情報学研究科複雑系科学専攻の工学と理学の連携による共同研究体制を敷き、学際的共同研究施設である桂インテックセンターを利用して強力に推進していきます。また、本拠点形成の中で京都大学の伝統である研究を通しての教育(On the Research Training)によって、広い視野と高い専門性を持って積極的に新しい研究分野を切り開いていく能力を備えた若手研究者を育成し独立させていきます。そして、本研究教育拠点を複雑な機械システムの解析と機能設計の基盤の上に立脚した新しい機械工学(複雑系機械工学)の研究教育拠点と情報発信の場としたいと考えています。

会員のページ

洛友会(昭和29卒)卒業50周年記念総会の案内

50周年総会を下記のように計画しております。卒業して50年後の京大を見学させていただき、宇治分校を懐かしみながら宇治川河畔で総会を開催します。

詳細は後日郵便でお知らせします。多数の方のご参加をお願いいたします。

日時:平成16年4月5日(月)13:00~20:30

集合:京都大学物理系校舎ロビー (13:00)

見学: 機械系工学教室と本部構内、他

総会: 宇治“亀石楼” (18:00~20:30)

問合先: 廣田 良夫

1970年卒同窓会のお知らせ

今年の同窓会が決まりました。城崎温泉西村屋での蟹料理一泊二日の特別企画です。参加希望者は9月15日までに吉岡さんに連絡してください。この案内が届いたときには、9/15は過ぎているかもしれませんが、参加希望者はとにかく連絡して下さい。

なお、E-mailアドレス登録者にはすでに連絡しています。また、今後の連絡もありますので、最新のE-mailアドレスを京機会および松久まで連絡願います。

1. 日時:平成15年12月20日(土)~21日(日)1泊2日

2. 場所:城崎温泉 西村屋招月庭

3. 内容:20日の夕食 地物のカニ料理

21日の朝食 バイキング

4. 料金:2人で一部屋利用の場合 約4.5万円/人

相部屋(4~6名で一部屋利用)の場合 約3万円/人

5. 連絡先: 吉岡哲男、松久 寛

花房研究室同窓会のお知らせ

毎年開催しております花房研究室同窓会を今年も11月22日(土)、昨年と同じ京都センチュリーホテルにて開催いたします。皆様ふるってご参加ください。

詳細は追ってお知らせいたします。

同窓会会長 市原 順一

伝熱工学研究室OB会(サヴァサヴァ会)報告

—鈴木健二郎先生ご退官記念—

平成15年5月17日(土)に、鈴木健二郎先生のご退官記念サヴァサヴァ会を開催しました。当日は午後に物理系校舎において伝熱研OBのお話と鈴木先生のご講演、夜は京都パークホテルに場所を移して記念パーティーを行いました。研究室の卒業生を中心に140名を超える参加があり、恒例となりつつある(?)サヴァサヴァ楽団の演奏など盛大かつ和やかな会となりました。

(岩井記、P.16の写真参照)

井上達雄先生退官記念行事報告

井上達雄先生のご退官にあたり、3月1日に最終講義と記念パーティを開催しました。

物理系校舎313講義室において「変態・熱・力学—熱力学から日本刀へ」と題して基礎理論とこれまでの研究成果の紹介があり、さらに京大会館において記念パーティが行われました。井上先生の奥様は、前日の手術でやむなく参加いただけませんでしたのが心残りでしたが、先生も大変喜んでいただきました。

なお、研究室のホームページ

<http://force.energy.kyoto-u.ac.jp/~uehara/kinen.html> で当日の様子をご覧になれます。

機械材料設計学研究室同窓会

—駒井謙治郎先生ご退官記念—

本年4月27日(日)に、3月末日をもって退官されました駒井謙治郎先生の退官記念行事を、研究室同窓会主催でウェスティン都ホテル京都において実施しました。当日は天候にも恵まれ、海外からの出席者を含め、135名もの多くの関係者に出席していただき、まず午後一時より同窓生3名による退官記念講演会を実施したのち、駒井先生に最終講義をしていただきました。引き続き、退官記念式・記念晩餐会、更に二次会と続き、穏やかな雰囲気にて盛大な記念行事となりました。(P. 16の写真参照)

会田研同窓会報告

昭和40年頃の行きつけの Snackbar「ミロ」の当時マドンナとの再会と、中井、藤尾両先生の退官記念の同窓会を平成15年3月21日開催。

(久保愛三(S41)記、P. 16の写真参照)

五十年会(S25卒)2003年春季例会報告

平成15年5月9日大阪倶楽部で開催。13名が出席。最初に森川君より「私の中国観」と題して卓話有り。
“1972年、上海での技術交流会に出席”
“1995年、某中小企業の中国進出計画を支援、中国側と交渉”
“1997年、某タイヤ合弁会社を訪問、同社を含めた上海地区の各企業の経済成長ぶりに接したこと”
“2002年、大阪科学技術センターの視察団に加わり、大連の日本企業、北京大学等訪問”等々で体験したこと、印象を述べ、又2002年秋の中国共産党大会の指導により諸体制に大きな変化が予測されることも含め、森川君独自の中国観が披露された。この話に関連し、中国と何らかの関わりのあった諸君より、それぞれの体験感想が寄せられ、活発な話の場であった。

食後、各自近況を語り合い、盛り上がった一時を過ごした。次回は本年10月27日大阪倶楽部の予定。

(幹事：野木・長尾、長尾記 P. 16写真参照)

京機32会平成15年度同窓会報告

平成15年6月5日、2年に1度が恒例の同窓会を開催。前回は横浜に遠出をしたが、今年は関西で趣向を変えて古都奈良を楽しむ企画。当日昼過ぎに集合、特別公開中の薬師寺の壁画(平山画伯)、唐招提寺の鑑真和上、襖絵(東山画伯)を拝観。奈良在住の福森幹事の世話でお願いしたボランティアの案内人や専門家顔負けの同窓生の懇切な説明があり、同行の夫人方にも大変好評。夕方、春日大社一の鳥居前の老舗料亭菊水楼で会員25名、同伴夫人16名が集まり、久しぶりに元気な顔を見せ合って、懐石料理を味わいながら、近況報告など久闊を叙し、遅くまで楽しい一夕を過ごした。その夜は奈良ホテルに宿泊、翌日思い思いに奈良京都を楽しんだ。次回は関東在住者の企画でまた元気に集まることを約束。出席された奥方達にも大変好評で、他の年度の方々にも是非ご夫人同伴の開催をおすすめしたいところです。

(文責：坂戸、P. 16写真参照)

昭和38年卒業関東支部同窓会報告

毎年数回行っている38年卒関東支部同窓会を、この度は、2泊3日かけて、志賀高原京大ヒュッテで開催しました。写真に見る大沼池を始め、約6時間、標高1500～2000mの周辺の沼・池・湿地帯を巡り、最後は熊の湯温泉でハイキングの疲れを取りました。京大ヒュッテは昨年2月に建替えられています。その近代的な施設、一步出ると広がる湿原・緑、満天の星の輝き、管理人さんの心温まるもてなし、宿泊費もリーズナブルであり、志賀高原自然散策の起点として、当ヒュッテの利用をお勧めします。なお、利用申込みはスキー部OBの方にご相談下さい。

(善本 毅記、P. 16写真参照)

昭和43年卒業同窓会報告

東京・静岡・新潟・広島と広範囲から23人の参加を得て、2003年5月10日1年半ぶりにホテル日航大阪にて開催。いつもは幹事ゆかりの工場見学をさせて頂いているが今回は集まり易い大阪市内ということでパーティのみの集まりとなった。もちろん二次会はミナミに設定。

ところで同期の物故者を挙げてみると6人にもなったのでしばし黙祷を捧げた。我々の年代も目の前に還暦という節目を控えてこの同窓会が次の人生を考えるヒントを得る機会にもなったと思われる。早くも「一旦リタイア」という会員も出てきている。

うなぎの寝床のような宴会場でお互いの顔が見え難い環境であったがこれも京都の町家の風情と辛抱願って、とにかく互いに元気な再会を喜び合った。次回は東京開催ということになり、久々の東京見物と喜ぶお上りさんも居るようであります。

(幹事：北田嘉信、谷口寛、竹村信一 P. 16の写真参照)

故 斎藤 潔君 遺児育英基金報告

昨年末にお願いいたしました、故斎藤潔君遺児育英基金に関しましては、多くの皆様の温かいご賛同を頂き、発起人一同、厚くお礼申し上げます。平成15年4月末で口座を閉じ、最終ご賛同人数：94名、合計金額：131万5000円となりました。ご賛同頂いた内訳は、発起人を含む同期生：47名、先生方：5名、振動工学研究室：23名、洛南高校同窓生・先生：19名であり、故人の卒業高校である洛南高校からの募金は二股さんのご尽力によります。4月29日に5名の仲間で斎藤家を訪問し、通帳を和恵夫人にお渡しし、故斎藤潔君の仏前に目録を供えて参りました。和恵夫人は、「そんなに大勢の方に・・・」と感謝され、子供たちが適当な年齢になったら使わせて頂くとのことでした。

発起人一同としての報告とさせていただきます。ご賛同いただき、本当にありがとうございました。

故 斎藤 潔 君 遺児育英基金 発起人一同
京都大学工学部 機械系 振動工学研究室 松久 寛
昭和57年入学同期生：

安藤、石黒、大平、垣田、川口、倉島、粉川
鈴木、高階、塚田、中村、西、西脇、蓮尾

各支部総会・新年会開催のご案内

◆関西支部 (P. 8~9に関連記事)

平成16年1月16日(金) 場所: ホテルグランビア大阪

◆関東支部 (P. 10に関連記事)

平成16年1月31日(土) 場所: 虎ノ門パストラル

◆中部支部 (P. 10に関連記事)

平成16年3月に開催予定。

◆中国・四国四支部 (P. 11に関連記事)

平成16年2月初旬、三菱重工業(株) 広島製作所で開催予定。

◎上記、支部総会のご案内は、後日、別途、各支部会員宛にお送りします。

詳細は、後日HPでもご案内します。該当支部以外の方の参加も歓迎します。該当支部以外の方で参加希望の場合は、HP上の会合受付で直接お申し込みいただくか、京機会事務局迄ご連絡下さい。

教官の異動

異動

川端祐司助教授: 本年4月1日、
原子核工学専攻へ異動 教授に就任

河崎 澄助手: 本年4月1日、
滋賀県立大学へ異動 講師に就任

就任

宇津野秀夫 助教授: 昭和55年名古屋大学工学部航空学科卒業、昭和57年東京大学工学研究科航空工学専攻修士課程終了。同年より(株)神戸製鋼所機械研究所振動音響研究室に勤務。同社では、圧縮機・建設機械などの低騒音化開発、吸音材料や制振鋼板の減衰性能評価技術、波動現象の視点から橋梁ケーブル張力診断、生産設備の張力診断、海洋波浪の消波構造物の研究開発に従事。平成15年4月より本学助教授。精密工学専攻振動制御システム講座に所属し、波動現象と機械力学の共通領域を対象に研究を開始。工学博士。



モハンマディ・アリ 講師: 平成4年イラン・タブリーズ大学工学部機械工学科卒業、平成8年徳島大学大学院工学研究科博士前期課程機械工学専攻修了、平成9年徳島大学大学院工学研究科博士後期課程生産開発工学専攻修了。平成9年から徳島大学大学院工学研究科エコシステム工学専攻助手、平成15年3月から京都大学大学院エネルギー科学研究科エネルギー変換科学専攻講師。現在は主に内燃機関の高効率化およびクリーン化に関する研究を行っている。



伊藤恵司 助手: 平成6年山形大学理学部化学科卒業、平成8年山形大学大学院理学研究科化学専攻修士課程修了、平成11年新潟大学大学院自然科学研究科情報理工学専攻博士後期課程修了。京都大学原子炉実験所COE研究員を経て、平成12年6月より原子炉実験所助手に着任。専門は中性子散乱によるランダム系の構造解析。



森 一広 助手: 平成8年3月千葉大学工学部機能材料工学科卒業、平成10年3月筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了、平成13年3月総合研究大学院大学数物科学研究科博士課程修了。その後、高エネルギー加速器研究機構協力研究員、高エネルギー加速器研究機構COE研究員を経て、平成14年12月より京都大学原子炉実験所助手に着任。主に、中性子回折、高温酸化物材料、セメント材料に関する研究に従事している。



堀口由貴男 助手: 平成9年京都大学工学部精密工学科卒業、平成11年京都大学大学院工学研究科修士課程精密工学専攻修了。平成15年3月同博士後期課程を中退し、同年4月より京都大学大学院工学研究科助手に着任。その間、平成13年~平成15年日本学術振興会特別研究員DC2。精密工学専攻・デザインシステム論講座に所属し、人間機械系の設計論に関する研究に従事。特に、人間にとって自然な操作感を備えた適応的な知能機械・自動化について研究している。



平方寛之 助手: 平成9年3月同志社大学工学部機械工学第二学科卒業、平成11年3月同志社大学大学院工学研究科博士前期課程機械工学専攻修了。その後トヨタ自動車(株)で車体設計に従事。平成12年4月京都大学大学院工学研究科博士後期課程機械物理工学専攻に入学、平成15年3月に博士号取得。同年4月より京都大学大学院工学研究科助手。機械物理工学専攻材料物性学分野に所属し、薄膜等の微小な構造材料の強度に関する研究を行っている。



学生各位！

京機学生会「SMILE」主催 学生と先輩の交流会のお知らせ

学生会主催で本会を下記により開催いたしますので、多数ご参加下さい。

日時：11月15日(土) 13：00～18：30
会場：京都大学工学研究科物理系校舎
スケジュール：講演会 13：00～14：10
交流会 14：30～17：00 (会社ごとのブースでの交流会)
懇親会 17：30～18：30

京都大学機械系工学教室第二世紀記念事業会からのお知らせ

京都大学機械系工学教室第二世紀記念事業会では、2000年に、教室の第二世紀を記念する「記念誌」と「ネクタイ」を製作し、醸金いただいた方に贈呈してきましたが、このたび、これらを販売することにいたしました。「記念誌」は3,000円、「ネクタイ」は2,000円(いずれも送料込み)です。購入希望の方は、郵便振替にてご送金下さい(通信欄に希望の品をご記入下さい)。お申し込み後、3週間以内に発送いたします。

【郵便振替先】

00950-1-89499

京都大学機械系工学教室第二世紀事業会



キャンパスだより

～ 桂キャンパスの風景 ～ (平成15年8月撮影)



～ 機械系関連教室送別パーティー ～

平成15年2月24日(金)物理系校舎内にて、本年3月にてご退官・ご転出の「鈴木・駒井・井上(紘)・井上(達)・中井・藤尾」各教官と、山本技官、平野・竹田両事務官を迎え、送別パーティーを開催しました。



P.12には、「文部科学省21世紀COEプログラム」関連記事を掲載しております。



伝熱工学研究室OB会(サヴァサヴァ会)



京機32会平成15年度同窓会



五十年会(S25卒)2003年春季例会報告



昭和38年卒業関東支部同窓会



会田研同窓会



昭和43年卒業同窓会



駒井謙治郎先生退官記念
機械材料設計学研究室同窓会

平成15年4月27日
於ウェスティンホテル京都

投稿記事についてお願い
 字数550字(約1/4ページ)以内。
 写真掲載の場合、300字以内。
 写真はデジカメ映像も可。
 (写真は、編集後返却します。)
 次号(No.14)締切は12月末日。

編集担当(木村健二、蓮尾昌裕、田中和人、小森雅晴、段智子)